

## 文化・芸術

### 「コンポジション」

1952年、陶板レリーフ  
44・4枚×34・0枚

フェルナン・レジェ (1881~1955年)

現在、大川美術館では企画展「70年目の原爆の図」とともに、コレクションもご覧いただけます。「原爆の図」の作者丸木位里(1901~95年)は、日本画家です。しかし、青年期から伝統的な日本画の表現にとどまるとなく、欧州の抽象絵画から学んだのでしょうか、実験的な水墨画を描いていました。そうした背景をご理解いただくために、コレクションの展示では、ポスト印象派から戦後の抽象表現主義まで、欧州の作品の数々を精選しました。

来館されたみなさんを最初にお迎えする作品が、このフランス人画家レジェの作品です。レジェは、第2次世界大戦中は米国に移り、戦後に帰国、南仏にアトリエを持ち、そこで絵画だけでなく、版画、陶器、舞台装置など多岐にわたり創作をしていました。2度の世界大戦を経て、自然と文明との調和を忘れることのないレジェの意志を、この陶板作品にみとめることができます。

(田中)

### 〈名画の扉〉

大川美術館コレクション展から

